



「なら子ども安全宣言」～私たちにできること～

私たちは、地域の方々、青パトさんや家族に守られて、今こうして安全に生活することができています。

私たち、奈良市の児童生徒は、

- 一、「11月17日」を命の尊さについて考え、安全な生活を送ることの大切さを感じる日とします。
- 一、多くの大人の皆さんに見守られていることへの感謝を忘れず、私たちにできることを考え、行動します。

わたしたちは、小学生として、

- 一、自分の命を自分で守ることができるように、いつも心がけて行動します。
- 一、見守ってくださっているみなさんに感謝し、気持ちをこめてあいさつをします。
- 一、自分たちだけでなく、まわりの人たちもこわい思いや悲しい思いをさせないように、思いやりをもって行動します。

私たちは、中学生として、

- 一、一人一人の命と心を大切にし、安全について話し合ったり考えたりする時間を持ちます。
- 一、交通ルールを守り、自分の身は自分で守ることができるように、普段の生活から安全を意識し行動します。
- 一、見守りがあることに感謝し、頼られる立場となるように、地域の行事へ積極的に参加します。

私たちは、高校生として、

- 一、正しく判断し自らの安全を守り、一人一人が周りを思いやってこそ生まれる「安全」に貢献します。
- 一、「守られる側」から「守る側」となるため、交通規範意識を高く持ち、小中学生の模範となります。
- 一、安全を再認識するだけにとどまらず、市内の小中高等学校で連携し、安全意識を高める働きかけをします。

平成26年11月17日

「なら子ども安全宣言」作成ワーキンググループ

